

# 地域と世界を繋ぐESD推進のためのネットワーク ESDプロジェクト

国連大学サステナビリティ高等研究所 シニア・プログラム・アソシエイト **鈴木 郁乃**

国連大学サステナビリティ高等研究所ESDプロジェクトでは、環境省の支援のもと、持続可能な開発のための教育(ESD)の推進のため、持続可能な開発のための教育に関する地域拠点(RCE)とアジア太平洋環境大学院ネットワーク(ProSPER.Net)という2つのイニシアチブを通じて、ESD推進のための人材育成や、パートナーシップを通じた地域課題の解決に向けた研究活動、ネットワーク構築など、多岐にわたる活動を実施しています。

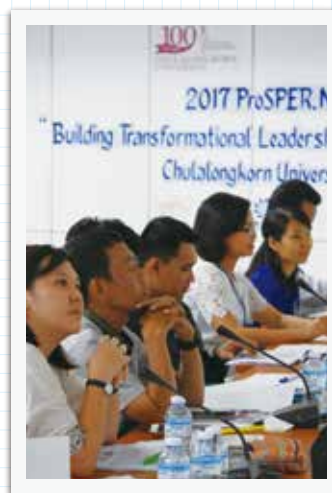
## RCE – 持続可能な開発のための教育に関する地域拠点

RCEは、地域社会でESDに関わる実践を行う、分野横断的な団体のネットワークです。2018年2月現在、世界には164のRCEがあり、各RCEに研究機関や大学、NGO、民間企業や各種学校、地方自治体など、多岐にわたる団体が参加し、多くの若者もRCEの一員として様々な地域課題に取り組んでいます。日本には現在、RCE北海道道央圏、仙台広域圏RCE、RCE横浜、RCE中部、RCE兵庫-神戸、RCE岡山、RCE北九州の7つのRCEがあり、それぞれの地域で環境学習や政策提言、交流事業などのESDに関する活動を実施しています。RCEの世界的ネットワークは、「持続可能な開発に関する世界的な学びの場」を構築し、生物多様性、伝統知、気候変動、災害リスクの軽減、持続可能な消費と生産、若者、高等教育、教員養成など、持続可能性に関する重要課題における連携を支援しています。RCEネットワークの活動の一環として定期的に開催される、RCE地域会合やRCE世界会議では、同様の課題に取り組むRCEが集まり、課題解決に向けた地域横断的な議論や各RCEの経験の共有、RCE間の協力関係の構築などを行っています。また近年では、RCEに関わる20代～30代の若者を中心に、異なる国々のRCEをオンラインで繋いだバーチャル会議も開催されています。こうしたRCEの取り組みは、2015年9月に合意された国連持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた有効な活動プラットフォームとしても注目されています。

## ProSPER.Net – アジア太平洋環境大学院ネットワーク

ProSPER.Netはアジア太平洋地域におけるサステナビリティに関わる人材の育成に向けた、大学・研究機関のネットワークです。2018年2月現在、アジア太平洋地域の40の大学院と教育機関が加盟しており、日本では北海道大学、岩手大学、東北大学、宮城教育大学、信州大学、東京大学、立教大学、法政大学、慶応義塾大学、横浜国立大学、中部大学、名古屋大学、岡山大学の13大学が加盟しています。ProSPER.NetではESDの実践に関わる若手実務者の能力開発のためのリーダーシップ・プログラムや、サステナビリティ関連の研究に携わる大学院生を対象とした若手研究者スクールなどの人材育成プログラム、メンバー大学による共同研究プロジェクト、メンバー大学間の人材交流などを実施しています。

ESDプロジェクトでは、教育をSDGsの全てのゴールの達成に欠かせない大切な要素と捉え、RCEやProSPER.Netを中心とした活動に取り組んでいます。それぞれのネットワークの詳細については、ウェブサイトをご覧ください。



2017年夏にタイで開催されたProSPER.Netリーダーシップ・プログラムにはアジア太平洋地域でESDの実践に取り組む参加者が集まりました。



2017年12月に岡山でSDGsの達成に向けたRCE第一回世界会議が開催されました。(写真: RCE 岡山/岡山大学)



岡山で開催された会議では、世界中から集まったRCEメンバーがフィールドトリップに参加しました。

RCEネットワーク・ポータルサイト

<https://www.rcenetwork.org/portal/>

ProSPER.Netウェブサイト

<http://prospernet.ias.unu.edu/>